

今月の  
**スマイルさん**  
Everyone to be happy with a smile!



ぶどうまつりで会いました

湯太郎くん(11歳)と妹の  
あいちゃん(8歳)、弟の  
平和くん(4歳)

歌とダンスで国際交流 音楽祭

8/30

東近江国際  
交流協会主催の  
「国際ふれあい  
音楽祭」が太子ホール(八  
日市町)で開催されました。  
今年は8か国約70人が参  
加、歌や踊り、楽器の演奏  
が披露され、国際色豊かな

ステージ演出に終始にぎや  
かな雰囲気になりました。  
ベトナム出身で初めて参加  
した山下レニさん(17歳)  
はベトナムで有名な曲「だ  
ぬ」を披露し「とてもドキ  
ドキしたけど楽しかった。」  
と感想を述べました。



①会場は大盛り上がり  
②山下レニさんが「だ  
ぬ」を披露 ③市内企  
業の研修生。インドネ  
シアへの帰国を前に、感  
謝の思いを込め熱唱

9/6

もりさとつみ  
森里湖をつなぐシンポジウム



①京都大学の田中克名誉教授による基調講演  
②パネルディスカッションでは熱い議論が展開

シヨッピングプラザア  
ピア(八日市浜野町)でびわ  
湖の森の生き物研究会シン  
ポジウム「東近江の川を活  
かす! 森里湖のつなが  
り」が開催され、約150  
人が来場されました。  
このシンポジウムは、愛  
知川に生き物と人のにぎわ  
いを取り戻し、森と琵琶湖  
をつなぐ役割を再生させる  
ことを目的に開催されまし  
た。基調講演では、京都大  
学の田中克名誉教授が登  
壇。すべての命の源である  
水の恵を地域再生の根幹に

おいた取り組みを進める大  
切さを訴えました。また、  
5人が意見を交わしたパネ  
ルディスカッションで、小  
椋市長は「東近江市の誕生  
により源流から河口までを  
総合的に俯瞰できるような  
なった愛知川を、関係団体  
との協働により再生してい  
きたい」とし、さらに「祈  
りと暮らした水遺産とし  
て、五個荘金堂地区と伊庭  
内湖周辺が日本遺産に認定  
された。素晴らしい地域資  
源にさらに磨きをかけてい  
きたい」と話しました。

9/6

あいとうぶどうまつり  
楽しむまつり



①あいとうぶどうの早食い競争  
②ぶどうの皮を飛ばし、距離を競  
う ③今年のぶどうも「おいしさ  
抜群!」

あいとうぶどうまつりが  
道の駅「あいとうマーガ  
レットステーション」で行  
われ、約1,800人が来  
場しました。あいとうぶど  
うは、愛東ぶどう生産出荷  
組合で栽培するぶどうの総  
称。当日はぶどうの即売会  
のほか、1房の粒の数を当

てるクイズ、皮飛ばし大会  
などが行われ、あいとうぶ  
どうの魅力が満喫。早食い  
競争では制限時間内にとれ  
だけ食べたかを競い、子ど  
もの部で優勝した田下湯太  
郎くん(11歳)は「昼ごはん  
を食べた後だったので、き  
つかった」と話しました。

9/13

総合防災訓練  
約9000人参加



①負傷者を助け出し、担架で搬送  
②英語とポルトガル語で災害情報を  
発信 ③土のうを積む訓練

台風の影響で  
局地的な大雨  
が降る中、震度  
6強の強い揺れにみまわれ  
たとの想定のもと、総合防  
災訓練が蒲生運動公園を主  
会場に行われ、市民や関係  
機関から約9000人が参加  
しました。  
自治会など地元住民が  
参加した救出救護訓練では、  
家屋の倒壊などによる負傷  
者を救助し、応急救護所に  
搬送しました。訓練に参加

した向井弘さん(50歳)は  
「担架の上を負傷者をのせ  
て運ぶ作業は、4人が同時  
に持つよりも2人で持つて  
2人が支えるやり方だと重  
さを感じないことがわかっ  
た。」と感想を話されました。  
そのほか、地元コミュニ  
ティラジオ局「FMひがし  
おうみ」で外国人向けの災  
害情報を発信する訓練や、  
土のうを作って積む水防訓  
練など31もの訓練が行われ  
ました。

9/13

ふるさと回帰フェアに出展

認定NPO法人ふるさと回帰支援センターが主催するふるさと  
回帰フェアが大阪(8月22日)、東京(9月13日)の2会場で開催されました。  
このイベントは、移住促進に取り組む自治体と移住を希望する都市在住  
の住民などをつなぐもので、東近江市は初めて移住相談のブースを出展、  
両日あわせ約30人が相談に来られました。



本市の移住相談ブースの様子(東京会場)

9/1

ご長寿祝い、最高齢者を市長が訪問

小椋市長が1日、市内の男性最高齢者である奥野泰二郎さん  
(105歳)を慶祝訪問しました。長男の泰勇さんによると、少し前までス  
ポーツ観戦、特に相撲を見るのが好きだったといい、人望が厚く近所か  
ら多くの人が泰二郎さんに会いにきたそうです。なお、15日には市内の  
女性最高齢者の和田キクさん(107歳)を慶祝訪問しました。



小椋市長から花束を受け取る奥野さん